

報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

令和元年5月16日(木)15:30~17:00 懇談会

※懇談会終了後、お時間のある方は引き続きご懇談ください。

1. 挨拶

— 吉田 憲司 (館長)—

2. ニュースリリース

●みんなくの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 園田 直子 (議長)—

3. 研究の窓

[詳しくはこちら](#)

データベース公開について

本館名誉教授の佐々木高明氏（故人）が撮影した写真資料約 40,000 点が民博に寄贈されましたが、この写真資料は、アジアの文化の多様性を考察するうえで貴重な学術資料です。本データベースは、特に日本の焼畑に関する記録写真を収録し、焼畑研究の第一人者である佐々木氏の足跡をたどるとともに、作業工程を中心とした焼畑の世界を示すものです。



— 池谷 和信 (人類文明誌研究部 教授)—

4. DiPLASプロジェクトについて

[詳しくはこちら](#)

個人が所蔵する写真や画像の点数は、年を追うにつれて等比級数的に増えていっているといわれています。そしてその多くが、人生の終わりとともに散逸・消失しています。国立民族学博物館を中心とする「地域研究に関する学術写真・動画資料情報の統合と高度化」プロジェクト（略称 DiPLAS）では、写真や動画などの画像資料をデジタル化・共有化するための技術的な支援をおこなってきました。その多くは、日本の研究者が世界各地で調査するさいに撮影したのですが、価値ある写真とはそうした写真ばかりではありません。市井の人たちの手記が大きな史料的価値をもつことを考えれば、研究者が撮影した写真でなくとも、学術的に価値の高い写真は少なくないはずです。このシンポジウムでは、そうした写真を地域デジタルアーカイブとして蓄積することの意義を考えます。



日時：5月25日(土)13:30～17:00(開場 13:00)
会場：国立情報科学 学術総合センター12階 会議室(1208/1210号室)
東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター12階
定員：100名(先着順/要事前申込)
参加費：無料
主催：科学研究費助成事業 新学術領域研究(研究領域提案型)『学術
研究支援基盤形成』「地域研究に関する学術写真・動画資料情報
の統合と高度化」(支援機能：地域研究画像デジタルライブラリ
(略称 DiPLAS)、中核機関：国立民族学博物館)
共催：国立民族学博物館
協力：国立情報学研究所

— 飯田 卓 (人類文明誌研究部 教授)—

— 丸川 雄三 (人類基礎理論研究部 准教授)—

5. 最新の研究紹介

[詳しくはこちら](#)

「資源化される『歴史』」—中国南部諸民族の分析から

(河合 洋尚 編/風響社)

— 河合 洋尚 (グローバル現象研究部 准教授)—

6. 音楽の祭日 2019 in みんぱく

[詳しくはこちら](#)

国籍、年齢、性別を超えて、音楽を愛するすべての人が無料で参加できる市民参加型の一大音楽イベントです。

2003年以来、今年で通算17回目の開催となります。プロアマ、ジャンルを問わず、日本を含む世界の楽器を使った音楽パフォーマンスをする方たちが出演します。音楽を共通語に、みんなで世界の音楽を楽しみ友好を深めます。

日時：6月23日(日)10:15～16:35(開場 10:00)

場所：国立民族学博物館 特別展示館、
本館1階エントランスホール

参加費：無料(本館展示をご覧になるには、観覧券をお買い求めください。)

主催：国立民族学博物館

主管：音楽の祭日 日本事務局



昨年の様子

— 出口 正之 (人類基礎理論研究部 教授)—

お問い合わせ



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

国立民族学博物館 総務課 広報係

電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@minpaku.ac.jp